

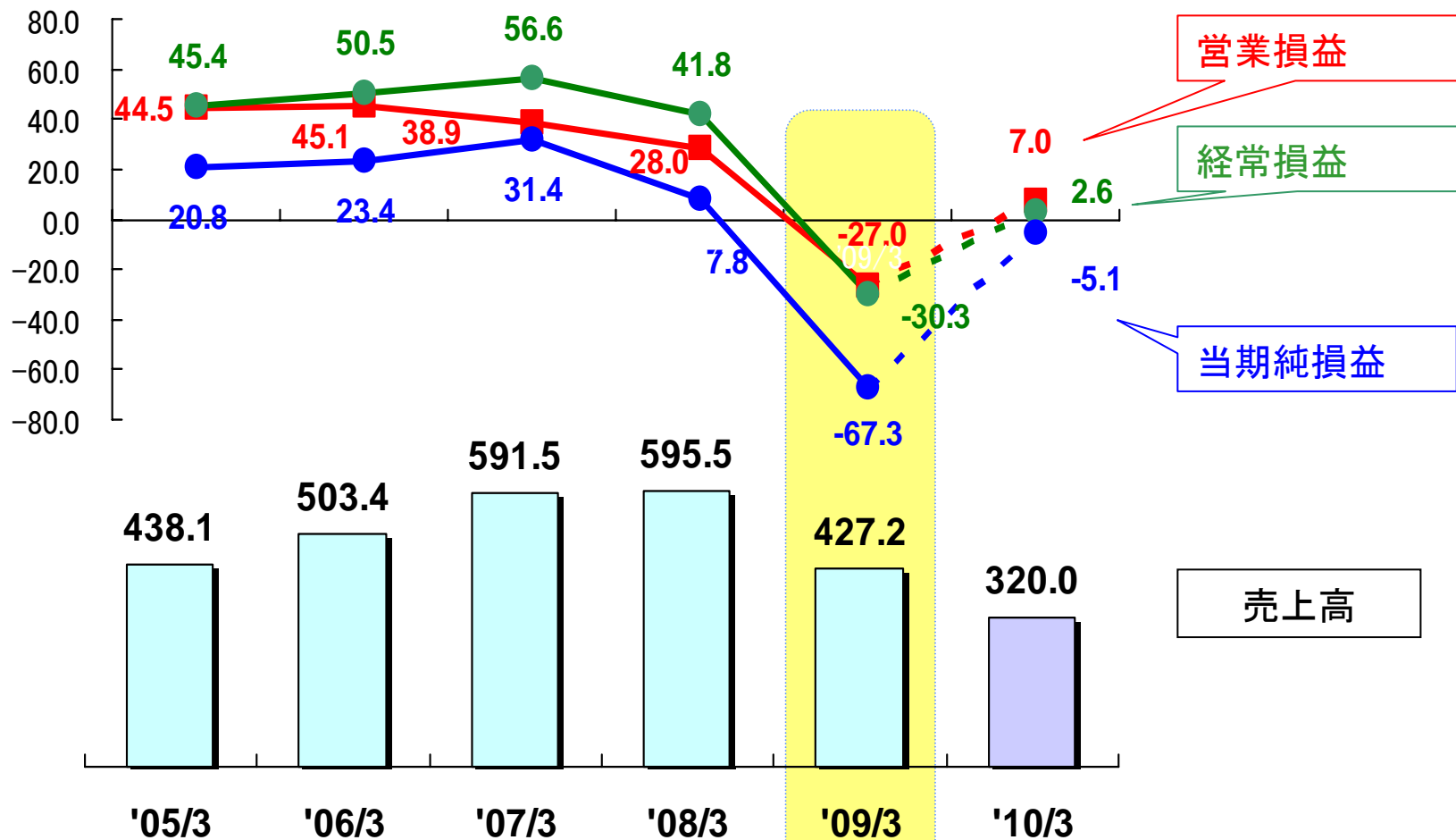
三井金属鉱業株式会社(5706)

2009年3月期 決算説明資料

2009年5月8日

売上高・損益

(単位:十億円)



1株当り配当	7円	10円	12円	12円	0円	0円
連結配当性向	19.3%	24.5%	21.9%	87.8%	-	-

(5/7現在予想)

経営の概況(1)

■ 2008年度決算

- ・ 世界的な需要減退および金属価格の急落と、これに伴う棚卸資産評価の影響(160億円)により、ほぼすべての事業において大幅減収減益。創業以来の営業赤字に転落する中、グループ人員約4000人の削減を初めとする経営合理化に着手。
 鉱山基礎、環境・リサイクル:円高、金属価格下落、コークス価格上昇、棚卸資産評価損で大幅赤字計上
 中間素材:TAB/COF事業の巨額の赤字解消のため、経営抜本策発表。
 組立加工:北米を中心とする自動車部品市場の急激な縮小により、損益悪化。
 営業外損益:銅および亜鉛事業持分法損益減、逆のれん償却解消で減益
 特別損益:TAB/COF事業で減損損失107億円計上。
 税金費用:単体の第3四半期末繰延税金資産(245億円)を全額取崩し
- ・ 当期純損失672億円の計上により無配に

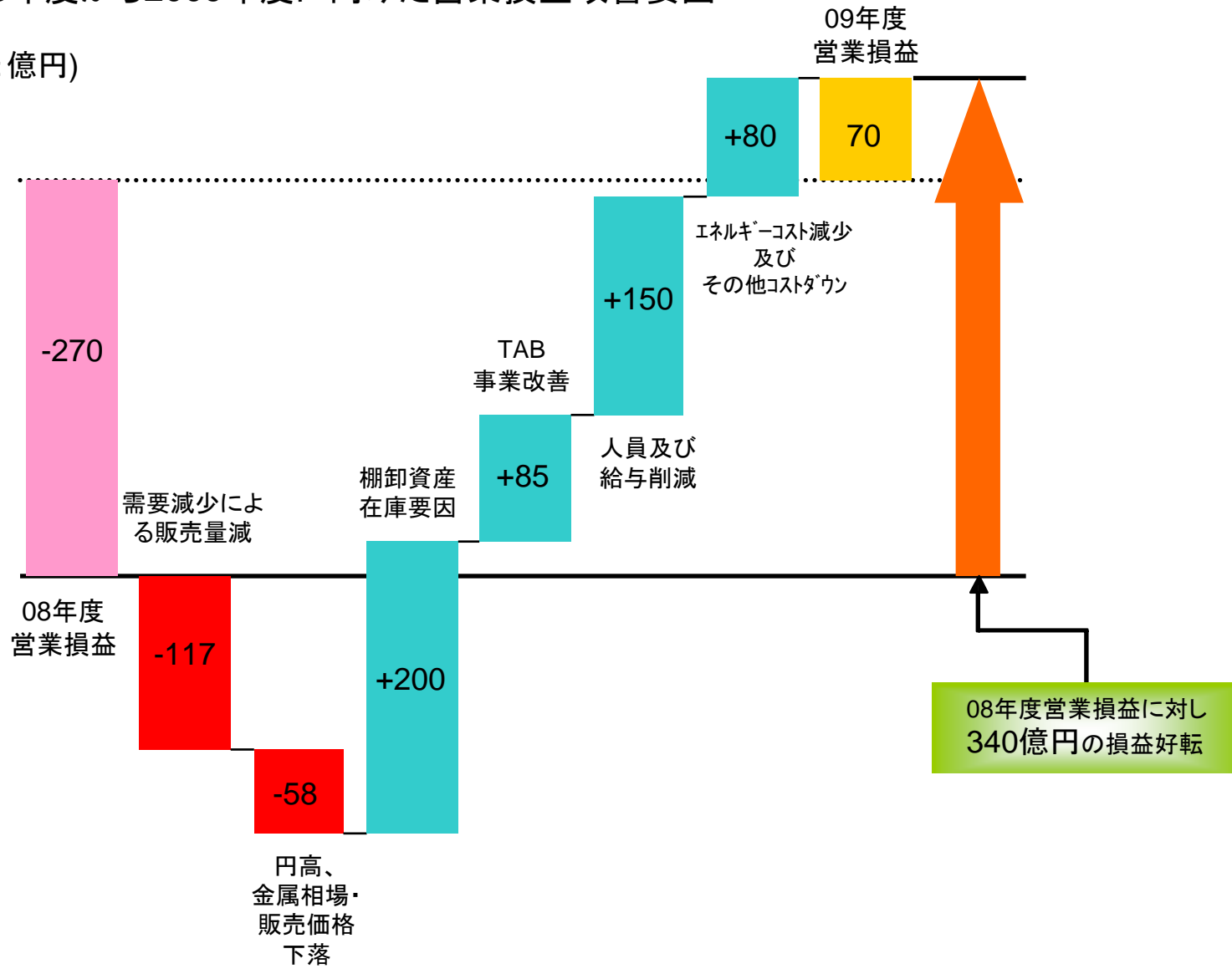
■ 2009年度見通し

- ・ 本格的な需要回復は2010年以降。事業構造改革と人員削減を含む徹底的なコストダウンで黒字浮上する。
 鉱山基礎、環境・リサイクル:金属価格下落で減収。リサイクル原料比率向上、エネルギーコスト下降、棚卸資産評価損解消で赤字縮小。
 中間素材:TAB/COF事業抜本策実施。銅箔を中心に収益回復を図る。
 組立加工:拠点集約、徹底した合理化で赤字を縮小。
 特別損益:人員削減に伴う事業構造改善費用34億円計上。
- ・ キャッシュ重視の経営を徹底し、棚卸資産、設備投資を大幅に削減する。

経営の概況(2)

2008年度から2009年度に向けた営業損益改善要因

(単位:億円)



経営の概況(3)

■ 経営合理化の進捗状況

- ✓ グループ人員4000名削減は予定通り09年度上期中に完遂。
- ✓ TAB/COF事業は拠点集約の上、収益およびキャッシュフローの確保が事業継続の前提。
- ✓ ドアロック事業は世界の生産拠点を13→9に集約。売上高3割減少でも利益の出る体質にする。

■ 今後の経営戦略

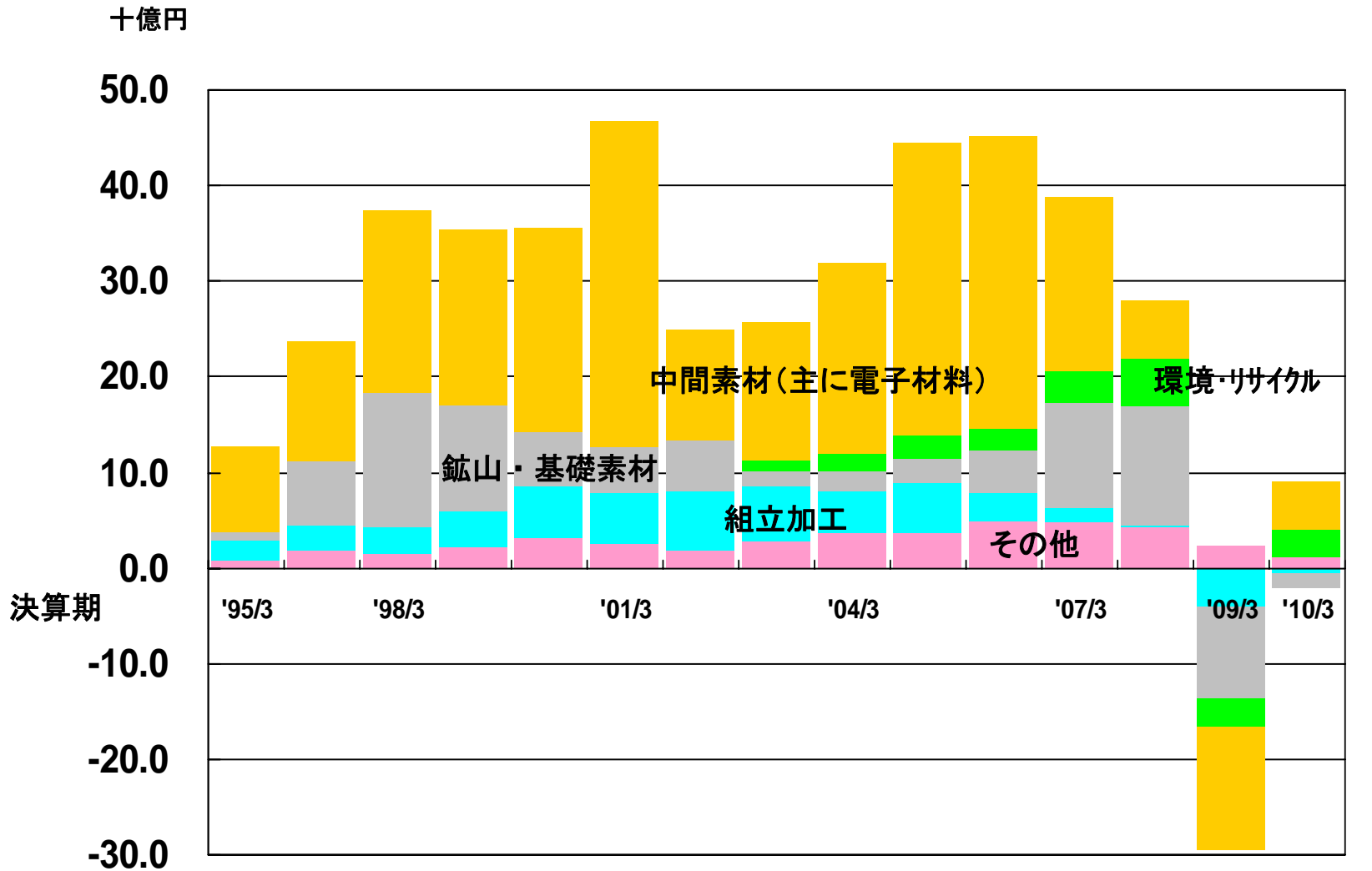
- ✓ 市況の回復が2010年以降となることを前提に経営に取り組む

短期 (2009年度)	人、もの、組織のスリム化 と構造改革	<ul style="list-style-type: none"> ・既存中核3事業(金属・環境、電子材料、ドアロック)を黒字化し、安定的な収益基盤を確立。 ・その他の既存事業はキャッシュカウ事業として、自前に拘らずリターンを追求
中期 (2010-2011年度)	既存事業の収益強化	<ul style="list-style-type: none"> ・銅箔を当面の成長リード役として、世界トップの地位を不動にする。 ・総合資源循環事業の強化で、金属相場依存からの脱却を図る。
長期 (2012年度以降)	次世代二次電池材料、新 ターゲット材料、触媒等	<ul style="list-style-type: none"> ・成長するアプリケーションに素材を提供する。 ・必要な技術はM&Aも行う。

損益計算書

	実 績			見 通 し			
	'08/3	'09/3	増減	'10/3	増減	上/09期	下/09期
売上高	595.5	427.2	-168.3 -28.3%	320.0	-107.2 -25.1%	146.0	174.0
売上原価	510.1	405.3	-104.8 -20.6%	-	-	-	-
売上総利益	85.4	21.9	-63.4 -74.3%	-	-	-	-
販売費・管理費	57.4	49.0	-8.4 -14.7%	-	-	-	-
営業利益	28.0	-27.0	-55.0 -	7.0	34.0 -	-2.0	9.0
営業外収支	13.8	-3.3	-17.1	-4.4	-1.1	-1.4	-3.0
経常利益	41.8	-30.3	-72.1 -	2.6	32.9 -	-3.4	6.0
特別損益	-19.1	-24.8	-5.7	-4.5	20.3	-2.8	-1.7
税引前利益	22.7	-55.1	-77.8 -	-1.9	53.2 -	-6.2	4.3
税金費用・少数株主利益	14.8	12.1	-2.7	3.2	-8.9	0.4	2.8
当期純利益	7.8	-67.3	-75.1 -	-5.1	62.2 -	-6.6	1.5

連結営業利益のセグメント別推移



(5/7現在予想)

事業セグメント別内訳 (十億円)



	実績			見通し			
	'08/3	'09/3	増減	'10/3	増減	'10/3 上期	'10/3 下期
■売上高							
鉱山・基礎素材	142.1	93.5	-48.6 -34.2%	75.0	-18.5 -19.8%	37.0	38.0
中間素材	243.8	174.8	-68.9 -28.3%	109.0	-65.8 -37.7%	50.0	59.0
組立加工	153.8	119.5	-34.3 -22.3%	93.0	-26.5 -22.2%	42.0	51.0
環境・リサイクル	69.1	51.3	-17.8 -25.7%	43.0	-8.3 -16.2%	20.0	23.0
エンジニアリング	27.6	24.8	-2.8 -10.2%	20.0	-4.8 -19.3%	7.0	13.0
サービス等	60.7	45.6	-15.1 -24.9%	30.0	-15.6 -34.1%	14.0	16.0
消去等	-101.6	-82.4	19.2	-50.0	32.4	-24.0	-26.0
連結	595.5	427.2	-168.3 -28.3%	320.0	-107.2 -25.1%	146.0	174.0
■営業利益							
鉱山・基礎素材	12.6	-9.6	-22.2	-1.5	8.1	-0.8	-0.7
中間素材	6.1	-12.9	-19.0	5.1	18.0	0.3	4.8
組立加工	0.1	-4.0	-4.1	-0.6	3.4	-2.7	2.1
環境・リサイクル	4.9	-2.9	-7.9	2.8	5.7	1.2	1.6
エンジニアリング	1.3	0.6	-0.7 -51.0%	0.1	-0.5 -84.2%	-0.5	0.6
サービス等	1.9	1.6	-0.4 -19.0%	1.0	-0.6 -36.3%	0.5	0.5
消去等	1.1	0.2	-0.9	0.1	-0.1	0.0	0.1
連結	28.0	-27.0	-55.0	7.0	34.0	-2.0	9.0

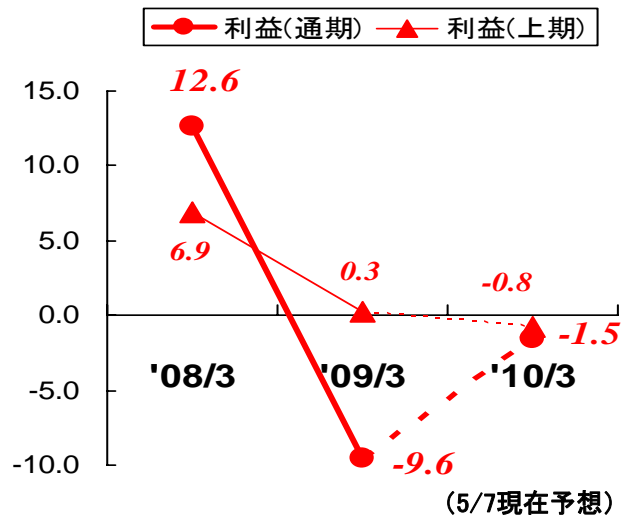
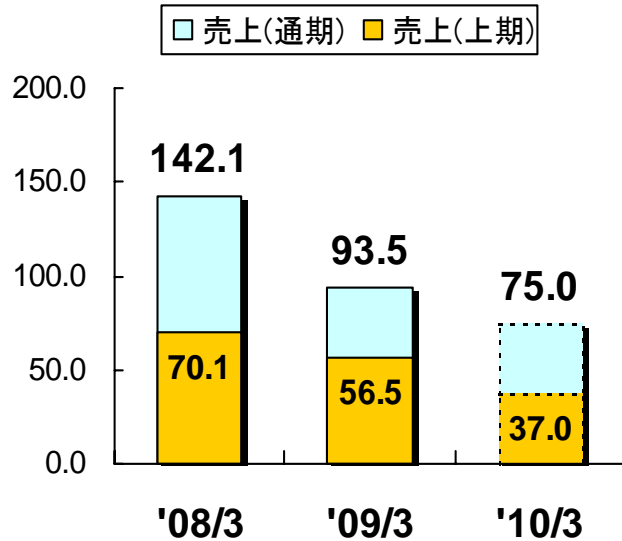


四半期売上高および利益推移 (十億円)

	07/Q1	07/Q2	07/Q3	07/Q4	08/Q1	08/Q2	08/Q3	08/Q4	Q1増減	Q2増減	Q3増減	Q4増減
■売上高												
鉱山・基礎素材	34.4	35.7	38.3	33.7	28.9	27.6	18.6	18.5	-5.5	-8.1	-19.7	-15.3
中間素材	62.3	63.1	63.9	54.5	60.7	59.3	35.0	19.8	-1.5	-3.9	-28.9	-34.7
組立加工	41.1	35.9	39.3	37.6	36.7	35.5	27.8	19.5	-4.3	-0.3	-11.5	-18.1
環境・リサイクル	17.3	17.4	18.3	16.1	14.9	16.0	9.8	10.7	-2.4	-1.4	-8.5	-5.4
エンジニアリング	4.0	7.2	3.8	12.6	3.7	6.3	5.7	9.0	-0.2	-0.9	1.9	-3.6
サービス等	15.5	15.3	16.0	13.9	13.8	13.4	9.8	8.6	-1.8	-1.8	-6.3	-5.3
連結	150.8	148.4	155.1	141.3	135.4	133.7	89.3	68.8	-15.4	-14.6	-65.8	-72.4
■営業利益												
鉱山・基礎素材	1.3	5.6	4.3	1.4	0.8	-0.6	-6.7	-3.2	-0.5	-6.2	-11.0	-4.6
中間素材	2.3	4.4	2.3	-2.9	6.5	2.2	-10.9	-10.8	4.2	-2.2	-13.1	-7.9
組立加工	-0.0	0.4	0.2	-0.5	0.7	0.0	-2.0	-2.7	0.7	-0.4	-2.2	-2.2
環境・リサイクル	1.0	1.9	0.7	1.3	1.7	0.1	-5.6	0.9	0.6	-1.8	-6.2	-0.4
エンジニアリング	-0.2	0.3	0.0	1.1	-0.1	0.1	0.2	0.4	0.1	-0.2	0.2	-0.7
サービス等	0.4	0.6	0.1	0.8	0.4	0.4	0.3	0.4	-0.0	-0.1	0.2	-0.4
連結	5.0	13.4	7.6	2.0	10.0	2.3	-24.5	-14.8	5.0	-11.2	-32.1	-16.8
■経常利益	8.3	17.5	10.6	5.3	11.8	3.2	-29.4	-15.9	3.5	-14.3	-40.0	-21.3
■当期純利益	5.2	11.1	7.1	-15.5	3.6	0.7	-24.3	-47.2	-1.6	-10.4	-31.4	-31.7

主要セグメントの業績(1) 鉱山・基礎素材

(単位:十億円)



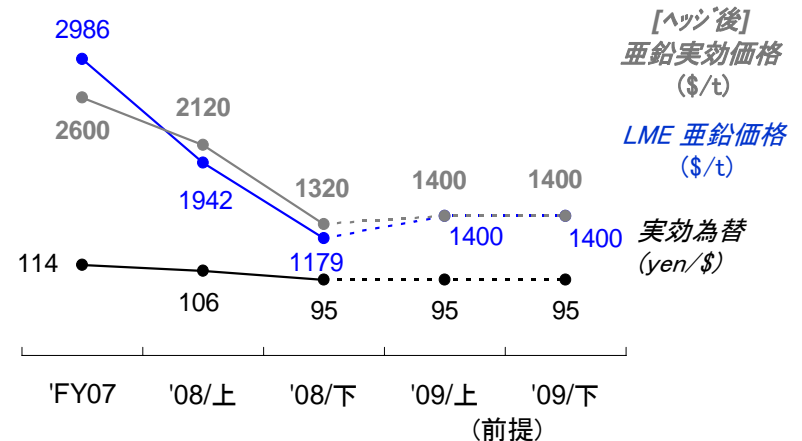
営業利益の増減説明 (概算)

	['08/3→'09/3]	['09/3→'10/3]
為替レート	-13 億円	-10 億円
相場	-113	-60
原料条件	20	-5
たな卸資産評価の影響	-67	112
コークス価格	-45	34
その他	-4	10
合計	-222 億円	81 億円

09年損益感応度(年間)

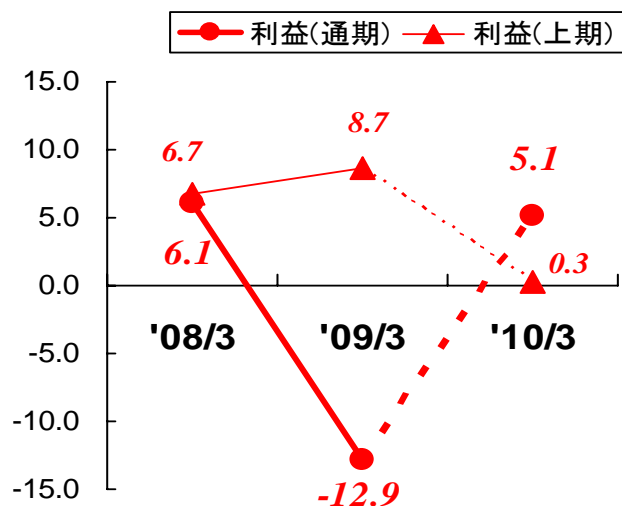
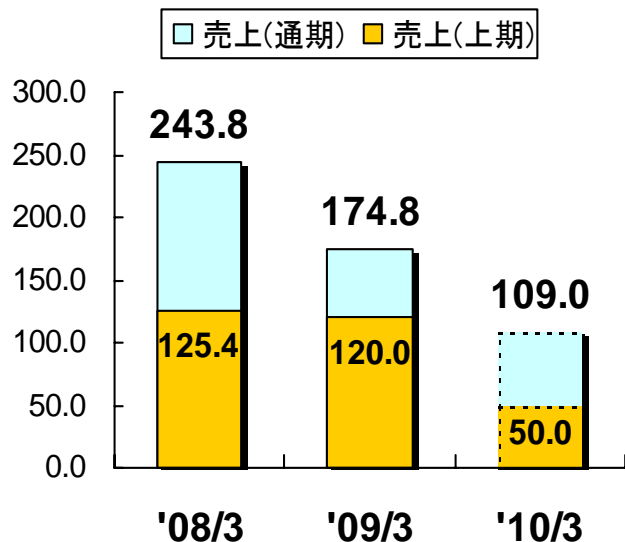
亜鉛 \$100/t	± 12 億円
為替1US\$/JPY	± 1 億円

亜鉛地金価格・為替



主要セグメントの業績(2) 中間素材

(単位:十億円)



(5/7現在予想)

営業利益の増減説明

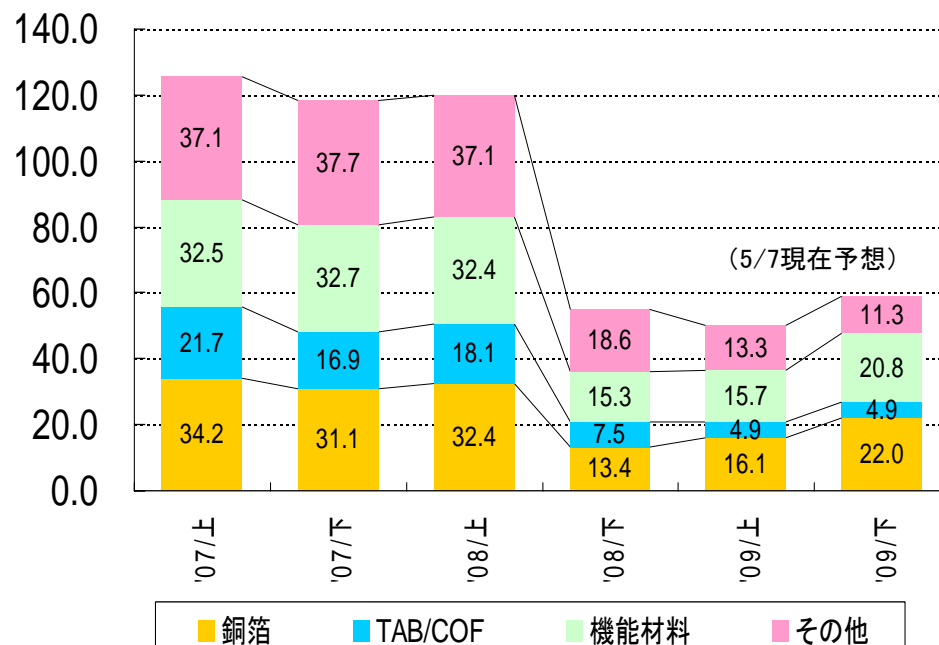
['08/3→'09/3 Δ 190億円]

・需要悪化による減販、たな卸資産低価法(Δ 76億円)等

['09/3→'10/3 +180億円]

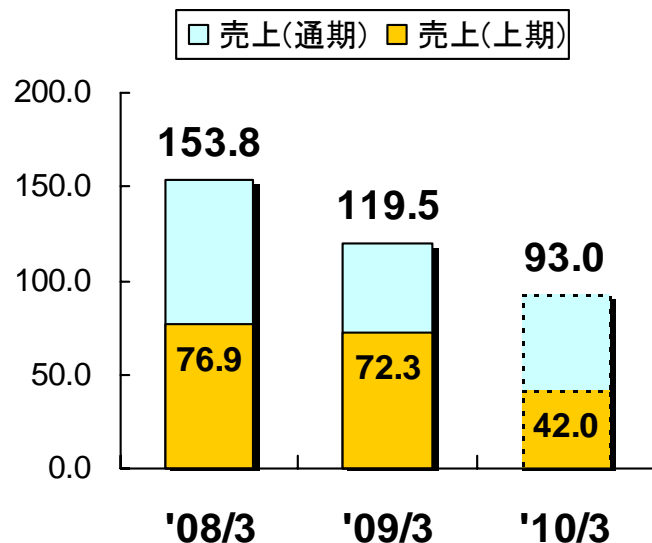
・TAB赤字縮小、合理化、需要下げ止まりから回復へ

製品別売上高内訳(十億円)



主要セグメントの業績(3)組立加工

(単位:十億円)



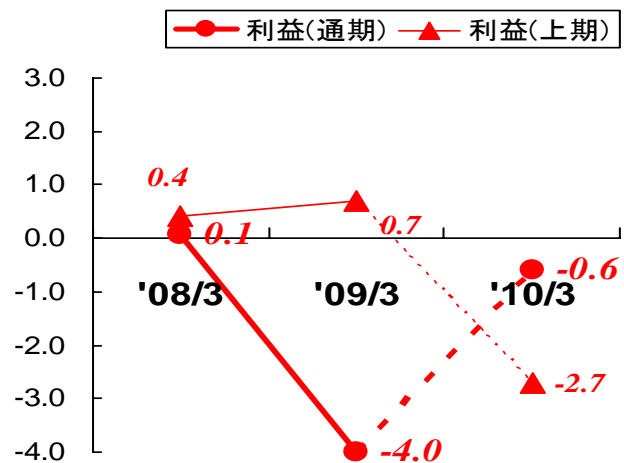
営業利益の増減説明

['08/3 → '09/3 Δ 41億円]

- ・ 需要大幅悪化による減販

['09/3 → '10/3 +34億円]

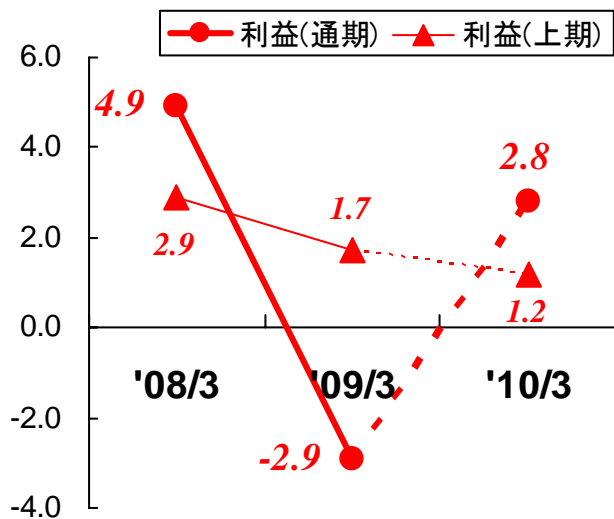
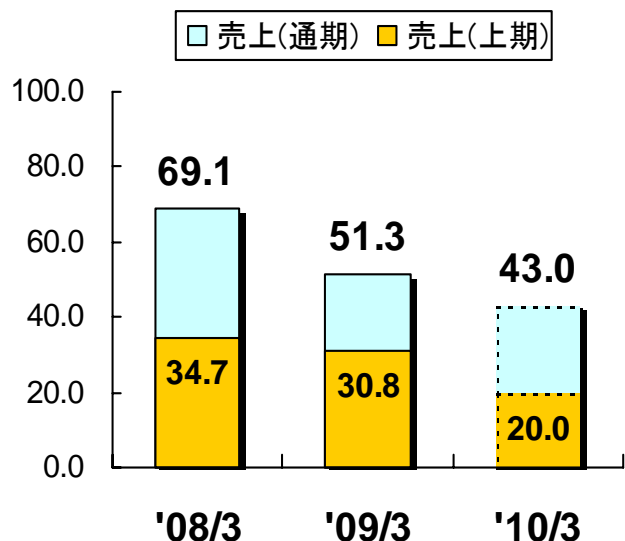
- ・ 合理化、拠点集約等で損失縮小を図る



(5/7現在予想)

主要セグメントの業績(4)環境・リサイクル

(単位:十億円)



(5/7現在予想)

営業利益の増減説明

['08/3→'09/3 Δ78億円]

- ・金属価格下落、エネルギーコスト増加
- ・棚卸資産評価の影響等

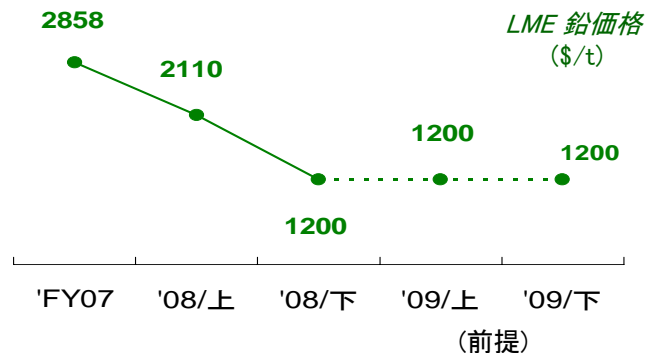
['09/3→'10/3 +57億円]

- ・棚卸資産の影響解消、合理化、コストダウン

09年損益感応度(年間)

鉛 \$100/t	± 1億円
-----------	-------

鉛地金価格

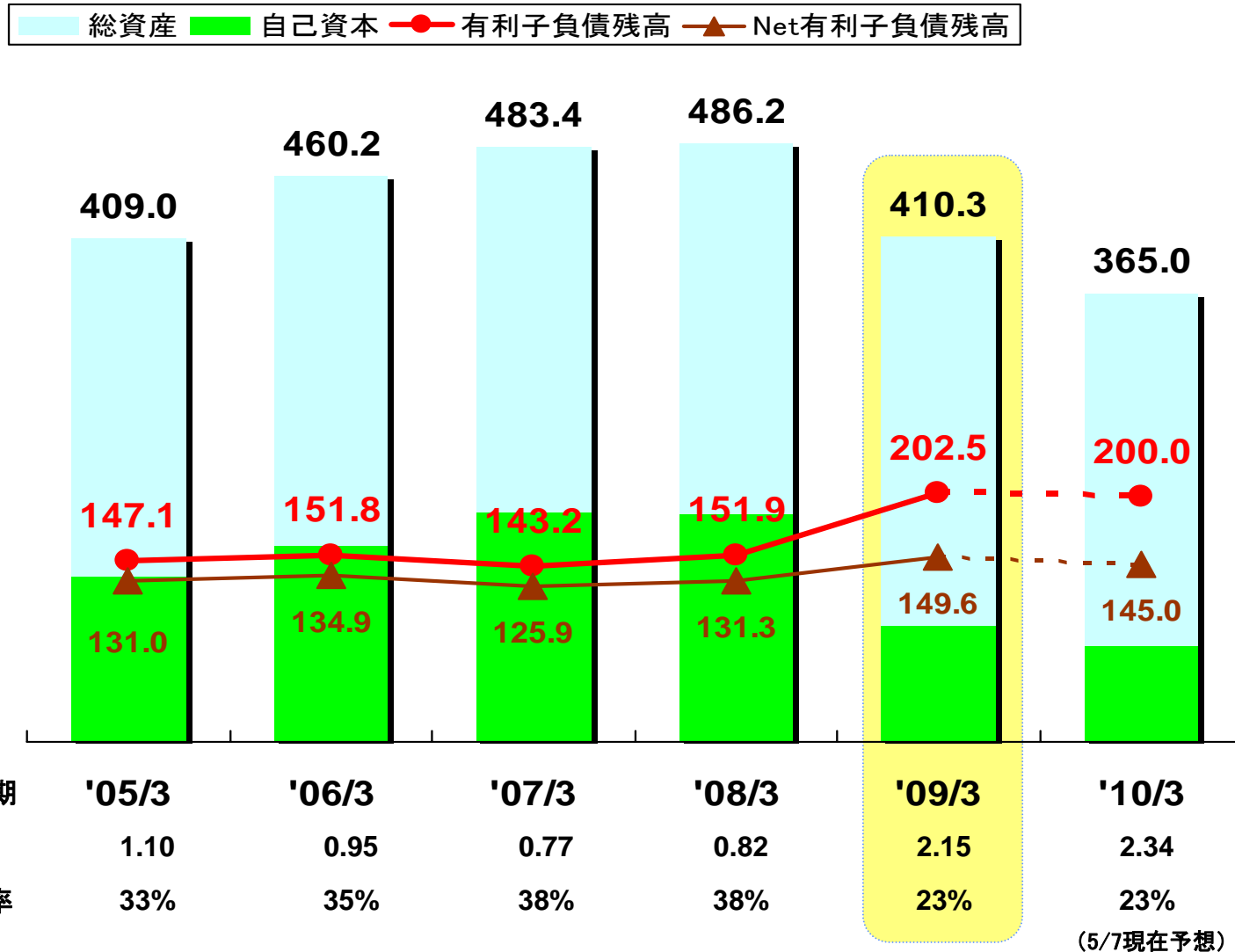


営業外・特別損益

(単位:十億円)	実績			見通し	
	'08/3	'09/3	増減	'10/3	増減
金利収支	-2.7	-2.7	-0.1	-3.4	-0.7
受取配当金	1.6	1.7	0.2	0.1	-1.6
負ののれん償却	3.0	0.1	-2.9	0.1	-0.0
持分法投資損益	11.6	-1.3	-12.9	-0.9	0.4
銅価格(¢/ポント)	(344¢)	(266¢)	(-78¢)	(150¢)	(-116¢)
亜鉛価格(\$/t)	(\$2,986)	(\$1,560)	(-\$1,426)	(\$1,400)	(-\$160)
その他	0.3	-1.1	-1.4	-0.3	0.8
営業外損益 計	13.8	-3.3	-17.1	-4.4	-1.1
鉱業権売却益	3.7		-3.7		0.0
補償金・賠償金	-0.2	-0.2	-0.0	-0.1	0.0
固定資産除売却	-1.7	-0.6	1.1		0.6
減損損失	-18.5	-11.8	6.7	-0.1	11.8
棚卸資産評価損		-4.7	-4.7		4.7
棚卸資産処分損失引当金		-2.5	-2.5		2.5
事業構造改善費用		-1.8	-1.8	-3.4	-1.6
その他	-2.4	-3.1	-0.7	-0.9	2.2
特別損益 計	-19.1	-24.8	-5.7	-4.5	20.3

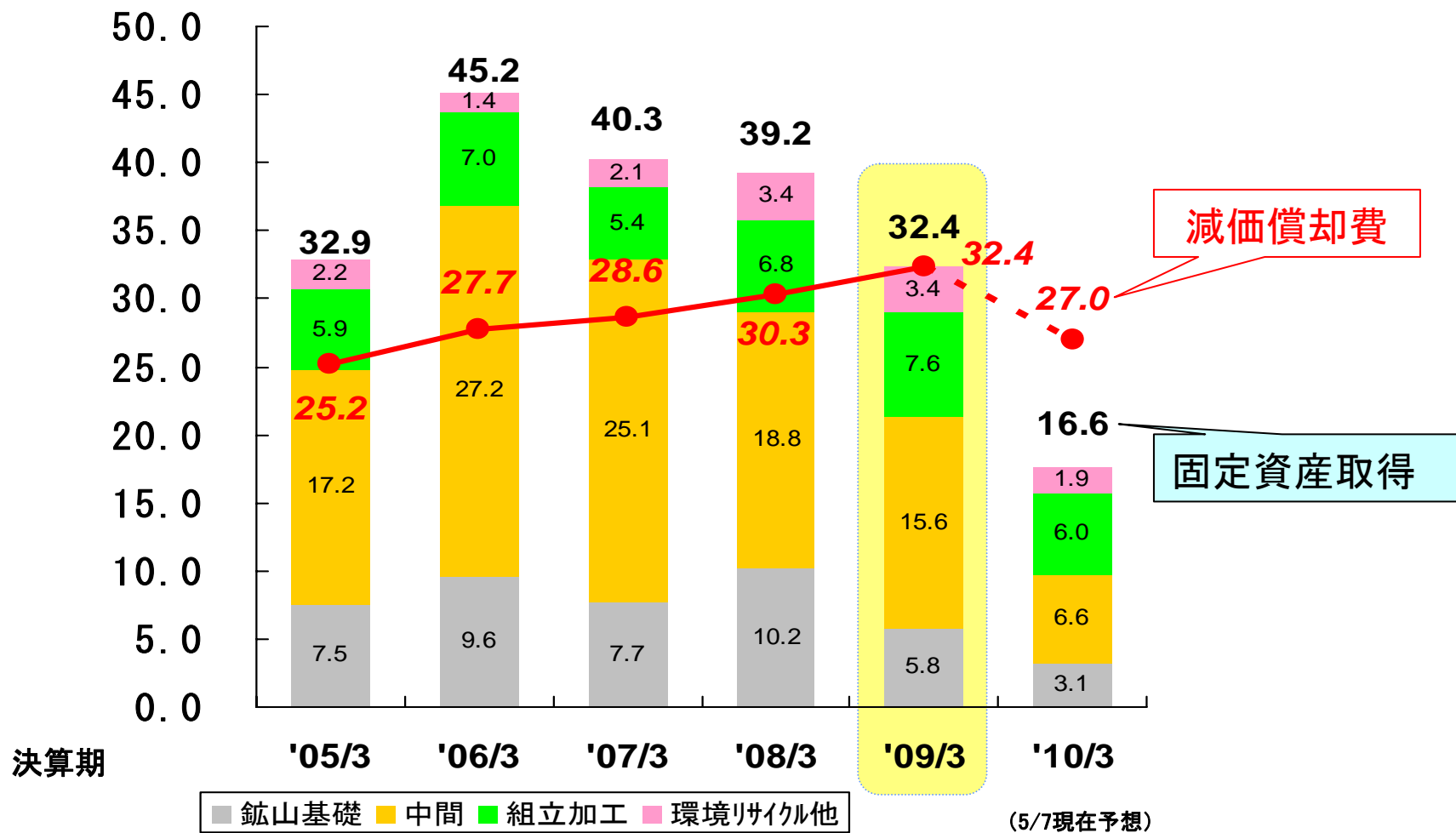
財政状態

(単位：十億円)



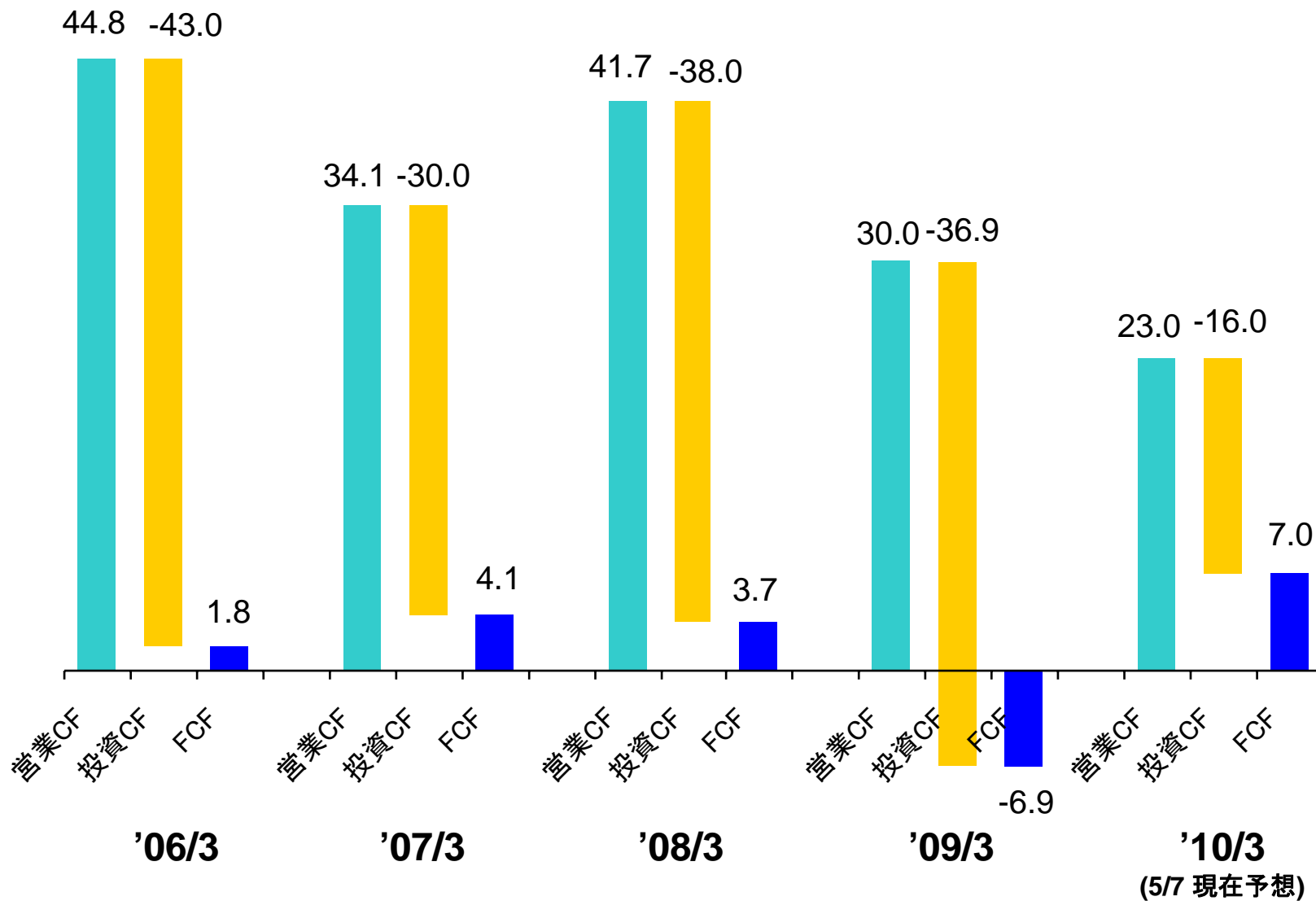
設備投資・減価償却

(単位：十億円)



キャッシュフロー

(単位：十億円)





将来の見通しに関する記述等についてのご注意

本資料に記載されている将来の見通しに関する記述は、様々な既存のリスク、未知のリスク、不確定要因等を伴っているため、実際の事業環境・事業活動は、これらによる影響を受けることとなります。したがって、将来の見通しに関する記述内容またはそれによって示唆されている内容が、実際に生じる結果と大きく異なる可能性もあります。

本資料は、将来の見通しに関する記述の中で使用されている目標、想定、期待、予測、計画、評価等の情報が正確である、または将来その通りになるということを、当社が保証したものではありません。

将来の見通しに影響を与える潜在的リスクや不確定要因については、当社の有価証券報告書またはホームページの「事業等のリスク」の項目に記載されておりますが、潜在的リスクや不確定要因がその項目ですべて網羅されている訳ではありませんので、その旨ご注意ください。

本資料は、株主・投資家等の皆様に、当社の経営方針・経営情報等をよりよくご理解いただくことを目的として作成しており、当社の株式の購入・売却など、株式等の投資を勧誘することを目的としたものではありません。したがって、皆様が実際に投資なさる際には、本情報に全面的に依拠して判断を下すのではなく、あくまでご自身で投資の可否をご判断くださいますよう、お願いいたします。